

平成18年3月9日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

3月定例所長会見における千野所長挨拶内容

当社は原油価格の高騰、寒波による電力需要の増加によりLNGなど火力燃料の確保が厳しい状況にある中で、来月1日から電気料金の値下げを実施します。これは、当社がかねてより原子力を中心とした電源の多様化を図ってきた成果であるとも考えられ、私どもとしてはお客さまに安価な電力を安定してお届けすると同時に、温暖化ガスの排出抑制に寄与する原子力の安全・安定運転を、地域からのご信頼をいただきながら継続してまいります。

さて、本日は私から3点申し上げたいと思います。

平成18年度の当所の経営方針について

私どもは、発電所を取り巻く情勢やこれまでの運営状況などを踏まえて、平成18年度は、『「世界最高レベルの安全・品質と安定運転」ならびに「地域共生への積極的な取り組み」により地域の信頼を得る』を経営方針に掲げて取り組んでいくことにしました。具体的には、

- ・ 基本行動の徹底、事例の深掘と水平展開によるミスの防止と能力の向上、保全業務の改善、精度の良い作業計画や作業員の被ばく低減
- ・ パトロールの強化などによる人身災害の撲滅
- ・ ISO9001による業務品質の継続的な改善や一昨年11月に行われたOSARTの改善推進事項のフォローアップ(OSARTは5月に審査のため来所)
- ・ 社員への体系的な教育訓練や協力企業の作業班長への教育などの新規導入による人材育成

などにより、安全確保・品質管理を徹底してまいります。

また、地域共生という面では、来年春に開園する予定の「柏崎・夢の森公園」や刈羽共生事業を、地域の皆さまからのご理解をいただきながら着実に進めていきます。また、当社が保有する資源をいかに地域の発展のために活用できるかということ、地域の方々と一緒に知恵を絞りながら、積極的に共生活動に取り組んでまいりたいと考えています。

以上のことを推進していくための仕組みについては、これまでの取り組みの中でできていると思っており、来年度はこの仕組みを活用し、これに基づきPDCAをまわし、成果を上げていくといった年にしたいと考えています。

プラント関連の状況について

まず、東芝製流量計問題についてです。

当社としては東芝に対して責任をもって徹底した再調査を行い、事実関係を報告するよう強く求めているところです。また、当社自らも、経営層や本店各部および私を含む各原子力発電所長からなる対策検討委員会を本店大で設置して、東芝から提出された記録や当社が立会った試験記録などを改めて確認するなどの調査を鋭意進めています。

次に、福島第一6号機のハフニウム板型制御棒にひびがあった問題についてです。

当所の状況は、定期検査中の1号機と6号機の原子炉内にあった同型制御棒には、ひびは確認されませんでした。使用済燃料プールに保管していた同型制御棒については、先月の会見で申し上げた通り、2号機で9本、6号機に2本のひびを確認しています。いずれも、福島第一6号機や先週福島第一3号機で確認されたようなタイロッドまでに至るようなひび割れは確認されていません。

今後はまだ未点検分の同型の使用済制御棒についての外観点検を3月末頃までに実施する予定です。

いずれの問題についても調査中であり、調査結果がまとまり次第、国へ報告するとともに、皆さまにも公表する予定です。

東京の「表参道・新潟館 ネスパス」でのイベントについて

ネスパスは、首都圏に住む方々に新潟の観光や文化などをPRする情報発信館ですが、今月21日と22日にはその場所をお借りして、「柏崎・夢の森公園」と柏崎の豊かな地域資源を活かした体験活動である「環境学校」をPRするイベント「おもしろねっか！ 柏崎」を開催します。会場は先月オープンした「表参道ヒルズ」のすぐ近くですので、多くの方に柏崎の魅力を知っていただき、首都圏との交流拡大につなげたいと考えています。

先月開催した「ふれあいツアーコンサート」では、ご来場いただいた約900名のお客さまから147,179円の募金が寄せられ、先日、柏崎市と刈羽村の社会福祉協議会へ寄贈させていただきました。今後もこのような共生活動を通じて、少しでも私どもの発電所が地域のお役に立てるよう取り組んでまいります。

以上

添付) 柏崎刈羽原子力発電所DATE・BOX

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成18年3月)

平成18年3月9日

発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況													補足説明
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1号機 1,100MWe (S60.9.18運開)	第14回定期検査中 H17.6.14~	第13回 H14.9.3 ~ H16.5.14 停止期間 H14.9.3 ~ H16.4.8 (584日) (原子炉起動H16.3.27)	第14回定期検査による停止													【1号機】 ・2月25日、ジェットポンプの流量計測用配管の補修作業終了
2号機 1,100MWe (H2.9.28運開)	第11回定期検査中 H17.9.3~H17.12.25 現在調整運転中	第10回 H15.3.10 ~ H16.8.3 停止期間 H15.3.10 ~ H16.7.2 (481日) (原子炉起動H16.6.28)	第11回定期検査による停止													
3号機 1,100MWe (H5.8.11運開)	運転中	第8回 H17.1.18 ~ H17.6.8 停止期間 H17.1.18 ~ H17.5.13 (116日) (原子炉起動H17.5.10)	第8回定期検査による停止 原子炉手動停止													
4号機 1,100MWe (H6.8.11運開)	運転中	第8回 H16.8.7 ~ H17.4.20 停止期間 H16.8.7 ~ H17.3.25 (231日) (原子炉起動H17.3.22)	第8回定期検査による停止													【4号機】 ・2月14日よりコストダウン運転中
5号機 1,100MWe (H2.4.10運開)	運転中	第11回 H17.7.4 ~ H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第11回定期検査による停止 原子炉自動停止													
6号機 1,356MWe (H8.11.7運開)	第7回定期検査中 H17.12.10~	第6回 H16.7.10 ~ H16.11.10 停止期間 H16.7.10 ~ H16.10.15 (98日) (原子炉起動H16.10.12)	第7回定期検査による停止													
7号機 1,356MWe (H9.7.2運開)	運転中	第6回 H17.3.1 ~ H17.8.2 停止期間 H17.3.1 ~ H17.6.23 (115日) (原子炉起動H17.6.20)	第6回定期検査による停止													

プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

発電所設備利用率 (%)

(2月末現在)

2月	70.9%
17年度累計	71.7%
運転開始後累計	77.3%

発電所発電電力量 (MWh)

(2月末現在)

2月	3,914,212
17年度累計	47,193,962
運転開始後累計	731,056,454

ドラム缶発生量(本)

(H17年度第3四半期)

当期発生本数	977
貯蔵庫累積貯蔵本数	17,004
貯蔵庫保管容量	30,000

使用済燃料貯蔵体数(体)

(H17年度第3四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	11,732
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,257
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	21,821

構内従業員データ (3月1日現在)

従業員数 (人)	東京電力	997	
	協力企業	4,205	
	合計	5,202	
協力企業 地域別比率	県内	柏崎市	58%
		刈羽村	6%
		その他	16%
	小計	80%	
県外		20%	
協力企業社数(社)		505	

来客情報 (2月末現在)

	2月(人)	年度累計(人)
地元	816	13,613
県内	884	22,193
県外	654	29,379
国外	41	517
合計	2,395	65,702

今後の主なスケジュール

予定日	内容
3月14日	第2回説明会(刈羽村老人福祉センター)
3月15日	第2回説明会(柏崎エネルギーホール)
3月18日	「雪割草まつり」(き・な・せ)
3月21日・22日	おもしろねっか! 柏崎(表参道・新潟館ネスパス)
3月29日・30日	第115回名画鑑賞会(柏崎エネルギーホール)
4月1日・2日	発電所構内バス見学(サービスホール)
4月13日	次回定例所長会見予定
4月21日・22日	スタンドグラス教室(柏崎エネルギーホール)
4月23日	スタンドグラス教室(き・な・せ)
4月1日~4月30日	サービスホール4月のミニイベント(サービスホール)

インターネットホームページアドレス

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/>

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部
0257-45-3131(代)